

ニュースクリップ News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

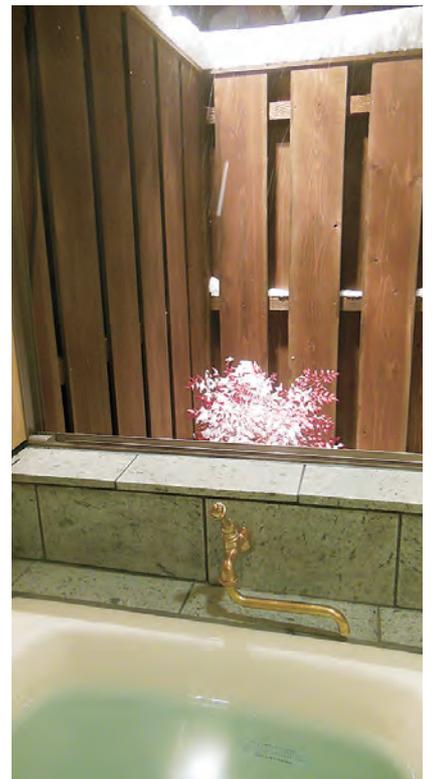
- P2 ヒストリーインタビュー
- P3 福島美味プロジェクト
- P4 青年部・女性部だより
- P6 商工会青年部・女性部
全国組織化50周年記念式典
第18回商工会青年部・女性部全国大会福島大会
- P8 元気印!!ズームアップ
- P10 Information 商工会だより
- P12 掲示板

五右衛門風呂体験ショールーム「五右衛門小屋」佐藤左官工業所 代表 佐藤和良さんにお伺いしました。

ヒストリーインタビュー

2016.12.26
Vol.374

「手仕事ならではの良さ、自然素材の温もり」を
追求し信頼される企業を目指して 須賀川市・佐藤左官工業所



「手仕事ならではの良さ、自然素材の温もり」を 追求し信頼される企業を目指して

会社沿革、事業内容について

当社は先代が昭和三十三年に創業し、地域の皆様に支えられ今年で五十八年目を迎えます。現在は親子二人で、壁塗り・タイル工事、土蔵修理、コンクリート仕上げなど左官屋としての手仕事はもろもろ、昔ながらの五右衛門風呂施工・リフォームも行っております。「古来より受け継がれる手仕事を合言葉に伝統の技を今に受け継ぎ提案する左官業として、既存製品にはない手仕事ならではの良さ、自然素材の温もりをお客様に感じて頂けるような仕事を心掛けております。

ここ数年は下請け工事の受注が大半を占め、利幅の得られない現状に苦慮し、他社との差別化を図った経営を模索しております。

震災が転機

二〇一二年の東日本大震災により、何の疑問もなく湯水のように電気を使い、便利な暮らしを「当たり前」に過ぎてきたことに少しずつ疑問を抱くようになり、便利、早い、手間いらず、それと引き換えに手放した代償より、電気を使わず、化石燃料も使わない、生活の原点である薪で沸かすお風呂「五右衛門風呂」の素晴らしさを改めて気付かされ、震災以降、後継者である三代目の和洋氏を中心に五右衛門風呂の制作により力を注ぐようになりました。

「スイッチ一つで風呂が簡単に沸かせる」の時代に、今さら五右衛門風呂なんてナンセンスと思う方もいらっしゃるかと

いますが、不便さや手間暇、見面倒くさいことを主体的に楽しむ気持ちを持つことが本当の意味で豊かな生活ではないかと思つたのです」と話すのは和洋氏。

実際に、弊社ホームページのアクセス内容を分析してみたところ、一般の左官工事等へのアクセス数よりも五右衛門風呂に関するアクセス数が多く、ネットを通じての問い合わせも「五右衛門風呂」に関する問い合わせが大半を占めていましたので、どこにか当社事業の新しい柱として事業展開出来ないかと模索してまいりました。そのような時に、商工会より小規模事業者持続化補助金の話を受取り、実際に五右衛門風呂がどのようなものかお客様に体験して頂けるシヨールームを制作いたしました。また、併せてホームページのリニューアルを行い、これまでの左官工事中心の内容から、五右衛門風呂を中心としたページ構成に変更いたしました。

五右衛門風呂体験シヨールーム

「五右衛門小屋」

最近では日曜大工で五右衛門風呂を自作される方もいますが、時間や労力を費やし、なかなか簡単に出来るものではないため、気軽に楽しんで頂きたいとの思いから、五右衛門風呂体験シヨールーム「五右衛門小屋」を制作しました。浴室壁はヒノキ、床材には十和田石を使用し、「上位モデル仕様」に仕上げております。

薪をくべて火をおこしお湯を沸かす一連の作業から入浴まで約2時間かかりますが「五右衛門風呂」の魅力を存分に味

わつことが出来ます。入浴後も体の芯まで温かさが続き、「湯冷めしにくい」と大変好評ですので、お気軽に体験、お問い合わせ頂ければと思います。

シヨールームを制作したことで、実際に訪れた方へは言葉やホームページで伝える以上の効果が生まれており、受注の後押しとなっております。

今回、商工会からの助言もありホームページのリニューアルを行いました。五右衛門風呂に特化したページ構成によりアクセス数は増加傾向にあり、遠方からの体験入浴や問い合わせ、受注の増加に繋がっております。郡山市や周辺市町村といった近隣のお客様から「五右衛門風呂」の修繕工事を依頼頂いております。驚いたことに依頼の多くは遠方にいるご親族の方が、弊社のホームページを見て美家の「五右衛門風呂」を直してほしいとのご連絡を頂いております。

また、長野県で二〇〇年以上続く味噌醸造会社様からは「五右衛門風呂」の制作技術を見込まれ、味噌を仕込む際に使用する窯の制作依頼がありました。

商工会との関わり

現代表の和良氏は昭和四十六年から商工会理事、副会長、会長として長年商工会の事業運営等に関わってきましたので、商工会を常日頃より利用してきました。

現在建築業では工事施工内容が時代の変化に伴い、作業の個別化・細分化が進み、下請け工事が多い左官業は利幅減少等厳しい経営状況下にあります。左官

技術の総結集である「五右衛門風呂」は他社との差別化が図られるため、新たな事業展開が出来ないか商工会に相談したところ、小規模事業者持続化補助金の活用を提案され、経営指導員の支援を受けながら申請書を作成し無事採択を受けました。採択後も事業の進捗状況の確認やアドバイス等、寄り添った支援をして頂き、自分の想いが形になり、そして成果として表れているので大変うれしく思っております。現在も外部の視点から定期的に助言や各種情報の提供を頂いております。

今後の事業展開

今回の「五右衛門風呂」事業は、左官職人としての長年の経験と確かな技術があつたからこそ成しえた事業であり、今後も手仕事ならではの良さ、自然素材の「温もり」を追求し信頼される企業を目指していきたいと思っております。事業を承継するまではスキーマのインストラクターを務めていた経験がある三代目の和洋氏は「人にもものを作る楽しさを教えられたら」と新たな夢も語っています。



企業概要

企業名 佐藤左官工業所
 代表者 佐藤 和良
 住所 〒962-0721 須賀川市雨田字後中山112
 TEL 0248-79-2603 (平日8:00~17:00)
 FAX 0248-79-4628
 URL http://satousakan.jp/

とどく、つくる、たべる「わくわくみそレッスン」 春号開始(年間4回分)

福島美味プロジェクトでは、企画した商品をネットショップ「福島美味オンライン」で取り扱っています。この度、とどく、つくる、たべる「わくわくみそレッスン」春号の申込募集を開始しましたので、ご紹介します。



**届く「わくわくみそレッスン」でみそ生活にチャレンジ!
発酵王国福島からあなたへ、選りすぐりのみそとレシピをお届けします。**

多くの人々に“味噌のある生活”を送って欲しいという福島美味プロジェクトの願いをコンセプトに、年間4回のレッスンで味噌料理を教えてくれる、みそソムリエ小野敬子さん監修のレッスンブックと、小野さんセレクトの福島県産の天然醸造味噌と一緒にお届けいたします。

レッスンブック春号は、「溶く」をテーマにしたレシピ

基本:味噌蔵の味噌汁 応用:みそポトフ

その他:味噌を使ったお菓子。定番メニューに「ちょい足しみそアレンジ」など盛り沢山

《各号一例》

春、夏、秋、冬の全4回で完結です。



春「溶く」 基本:味噌蔵の味噌汁 応用:みそポトフ

夏「和える」 7種のドレッシング(基本・応用)

秋「煮る」 基本:旬のみそ煮 応用:味噌ポロネーゼ

冬「焼く」 基本:みそ田楽 応用:辛味噌のグリル



ショップ名:福島美味オンライン

公式サイト: <http://online.fukushima-bimi.jp/>

福島美味オンライン

検索



運営者名:株式会社福島商工サービス

住所:福島県福島市三河南町1-20号 コラッセふくしま 9F

電話:024-573-5777

最優秀賞に半澤 悟さん(長沼) ～青年部トップセミナーの開催～

平成28年6月15日に「平成28年度商工会青年部トップセミナー」を会津若松市文化センターで開催しました。

県内6ブロックの代表者がテーマに基づき、青年部活動において常日頃抱いている想いについて発表する主張発表大会福島県大会と、「コミュニティビジネス・イノベーション～商工会青年部に求められること～」を題目に一般社団法人BIS・Communication代表理事 宮本博史氏の講演会を実施し、会場は熱気に包まれました。



最優秀賞 半澤 悟さん

主張発表大会では、「青年部活動と地域振興・まちづくり～藤沼湖自然公園復興プロジェクトを通して～」と題し発表した、県中地区代表の半澤悟さん(長沼)が栄えある最優秀賞(県知事賞)に輝き、「平成28年度東北6県・北海道ブロック主張発表大会」に福島県代表として出場することが決定しました。

また、主張発表者に対する応援として、地区ごとにユニークな応援合戦が行われ、今年度は県北地区が優勝地区に選ばれました。

半澤さんは、8月25日に開催された「東北・北海道ブロック大会」では、惜しくも最優秀賞に輝くことは叶いませんでしたが、福島県代表として堂々とした主張発表でした。



応援合戦優勝(県北地区)



基調講演の様子

商工会うまいもんNo.1 決定戦の開催

福島県商工会青年部連合会主催による商工会うまいもんNo.1決定戦を7月30日(土)、西郷村「ニューファクトリーゾーン」で開催しました。県内各地の16商工会が自信をもっておススメする「うまいもん」の中から、川俣町商工会青年部の「川俣シャモバーガー」が優勝を飾りました。



優勝した川俣町商工会青年部

商工会うまいもんNo.1決定戦結果

優勝 川俣町商工会青年部
「川俣シャモバーガー」

準優勝 ひがし商工会青年部
「新食感!唐揚げ」

第3位 表郷商工会青年部
「納豆春巻」



「七色の絆～輝く未来へ 心ひとつに～」

東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会 女性部主張発表東北北海道大会in山形県大会

第16回東北六県・北海道商工会女性部主張発表ブロック大会が平成28年7月13日～14日、山形県山形市「ホテルメトロポリタン山形」にて開催され、発表者と県女性連役員等を含め36名が参加しました。

当大会では、本県から遠野町商工会女性部部員の佐川繁子さんが「女性部活動と地域振興・まちづくり～お月様の夜に広がる希望の灯り～」をテーマに出場されました。自分たちが発起人となり誕生させた「満月祭」が、震災から半年後、開催するかどうか危ぶまれていたが、町に賑わいや活気を取り戻すためには「満月祭」を実施するしかないという部員の気持ちが一つになり無事に祭りをやり遂げた達成感と、一人ひとりの小さな力がまとまれば、地域を元気にできるという気づきを得られ、これからの部の活動にもこの経験を肥やしにしていきたいという発表でした。

残念ながら全国大会出場とはなりませんでしたが、女性部らしさも忘れずに、地域の復興を願う気持ちが込められたすばらしい内容でした。



主張発表者 佐川繁子(遠野町)

女性部員増強運動表彰



都道府県連女性部の部 全国5位
福島県商工会女性部連合会



商工会女性部の部 全国5位
桑折町商工会女性部

まち(地域)づくり顕彰表彰



東北・北海道ブロック
塙町商工会女性部

また、今回は東北・北海道ブロック大会の席上において、女性部員増強運動の年間実績表彰とまち(地域)づくり顕彰の表彰が執り行われました。受賞されました女性部の皆様おめでとうございます。

講師: 関根近子先生を
囲み記念撮影



第18回商工会青年部・女性部全国大会福島大会

を創り、未来を奏でる 友よほんとうの空へ～

青年部・女性部主張発表大会

毎年好評を博している主張発表大会も青年部・女性部合同で行い、東北・北海道、関東、中部、近畿、中国・四国、九州ブロックの代表者12名がそれぞれの想いをぶつけ合いました。青年部員、女性部員がお互いの主張発表を聞く機会はあまりなく、お互いに新たな気づきがあったことと思われます。年々、主張発表者のレベルも上がっており、今年も審査員泣かせの発表が相次ぎました。その中で青年部は、宮城県南三陸商工会の及川善弥さんが、女性部は、沖縄県渡嘉敷村商工会の国吉佳奈子さんが最優秀賞の栄冠に輝きました。



女性部最優秀賞の国吉さん



青年部最優秀賞の及川さん



講評・結果発表

プレゼンテーション～ふくしまVOICE～想・創・奏 次の100年へ～

岩手県、宮城県、福島県の被災3県の商工会青年部・女性部が震災から今日までの活動や現状を、発表者3名が大会スローガンになっている「想」「創」「奏」の3文字について1文字ずつ発表を行いました。



佐藤健太さん(飯舘村)



二瓶恵美子さん(滝根町)



押田洋平さん(矢祭町)

当日は、県内の青年部員・女性部員が全国の青年部員・女性部員に対して盛大なおもてなしを行いました。



商工会青年部・女性部全国組織化50周年記念式典

「想」・「創」・「奏」～ふるさとを想い、人を

平成28年11月8日～9日に郡山市「ビッグパレットふくしま」において、「商工会青年部・女性部全国組織化50周年記念式典」並びに「第18回商工会青年部・女性部全国大会福島大会」が全国から5000人を超える青年部員、女性部員が参加し開催されました。当日は、公務ご多用中にもかかわらず、松村祥史経済産業副大臣、宮本聡中小企業庁長官、内堀雅雄福島県知事をはじめ多数のご来賓の皆様にご臨席いただきました。式典では、青年部・女性部の発展に顕著な功績を有する青年部・女性部に対して表彰状の授与式が執り行われ、県内においては下記の青年部・女性部が表彰されました。



中小企業庁長官表彰

優良女性部 只見町商工会女性部

全国商工会連合会長表彰

優良青年部 あだたら商工会青年部
 青年部功労者 木丸 智明(あだたら)
 村松 尚(会津美里町)
 佐藤 健太(飯舘村)
 女性部功労者 渡邊 富子(矢吹町)
 神 トシ子(猪苗代町)

全青連会長表彰

優良青年部 伊達市商工会青年部
 本宮市商工会青年部
 会津美里町商工会青年部
 南会津町商工会青年部

全女性連会長表彰

優良女性部 伊達市商工会女性部
 本宮市商工会女性部
 会津美里町商工会女性部
 南会津町商工会女性部
 女性部功労者 過足 文子(三春町)
 佐藤 高子(会津坂下町)
 野内 福子(喜久田町)
 熊倉 ウメ(中島村)

大会スローガン

「想」・「創」・「奏」～ふるさとを想い、人を創り、未来を奏でる 友よほんとうの空へ～

本大会においては、これまでの50年に感謝するとともにこれからの未来へ向けて全国の商工会青年部・女性部が一致団結してふるさとの発展に貢献していく新たな決意を確認する。

東北の地に全国の商工会青年部・女性部の代表が一堂に会し、14万人の部員の連帯と英知の終結を図るため、そして次なる50年に向けて更なる飛躍をしてゆくことを誓い、「先人から受け継いだふるさとを想い、そして守り、かけがえのないふるさとで人を創り、そして仲間を創る」という思いを込めて大会スローガンが決まりました。



大会ロゴマーク



大会誌

ズムアツツ。



県内4地域の商工会から、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)



東北

松川町商工会



**「福島の元気は松川から！」
笑顔あふれる農家レストラン**

エスポール有限会社
マスター 齋藤 昭雄氏

〒960-1241
福島県福島市松川町字平館19-2
TEL 024-567-3234
営業時間 / 10:00~22:00
定休日 / 月曜日

■事業紹介
昭和49年にコーヒーショップとして開業。その後平成元年に現在の福島市松川町の旧4号線沿いに「農家レストラン」をオープンさせました。



奥さまのミチ子さんと二人三脚で自分たちが育てたお米や野菜をふんだんに使った料理を提供しており、早い時期から6次化産業を推進してきました。
ユニークなネーミングのメニューが評判となり、地元の常連さんだけではなく、口コミで来店されるお客様が増え、順調に売上を伸ばしておりましたが、平成23年3月に発生した東日本大震災、その後の原発事故により、野菜の出荷制限、福島県産の農産物に対する放射能汚染への不安による風評被害等により愛情込めて育ててきたお米や野菜を使えない状況となりました。特に、自信をもって提供していたご飯類はほとんど出ない状態となりました。
震災から5年が経過した今でも、福島への食に対する風評は残っており、大変厳しい環境ではありますが、おいしいコーヒーを淹れながら、地域の歴史や文化について話してくれるマスターと、素敵な笑顔で接客する奥さまのお店から元気を発信していきたいと思ひ支援しております。



■商工会との関わり(商工会からの支援)
震災以降、長引く風評被害に農家としても経営者としても自信を失いかけていた私のところに、商工会さんから「小規模事業者持続化補助金」の利用を勧められました。商工会さんの支援のもと、店の現状を分析し、専門家のアドバイスをいただきながら「農家レストラン」としての強みを活かしたサービスをお客様に自信を持って提供できる環境を整えたことで、「福島の元気」をまずはこの店から発信していきたいと思うようになりました。

■今後の展開
6次化産業はとてもおもしろいものです。「食」の原点は土にあります。その土づくりから手間暇をかけ、私たちは自信をもってお客様に料理を提供しております。この自信が地域の農家さんへも伝わり、福島全体が元気になるって欲しいと願っています。今後は農業ボランティアの受け入れ等もできたらいいなと思っております。微力ですが商工会さんと一緒に地域活性化に努めていきたいです。



県中・県南

西田町商工会



**“地元密着型レストラン”
として第2の故郷で生きていく**

菜園レストラン・エルタパド
代表 永井有利子氏

〒963-0904
福島県郡山市西田町土棚字内出346-1
TEL/FAX 024-972-2325
営業日 / 土日・祝祭日 11:30~15:00
(ラストオーダー 14:00)
平日は予約のみ

■地元との繋がりを強くしたい
JR郡山駅から車で約20分。田園風景の中にひっそりと佇む1軒の古民家。築150年を数える趣のある空間で、南イタリアの家庭料理を楽しめるのが「菜園レストラン・エルタパド」です。
長年、田舎暮らしに憧れていた母・永井益美さんと娘・有利子さんが、東京から郡山市西田町に移住し、お店をオープンしたのが平成21年。家庭菜園で栽培した野菜を中心に地元の食材にこだわり、本場イタリアで腕を磨いた益美さんが、素材そのものの味を生かした料理づくりに取り組んでいます。
全国ネットのTV番組でも紹介され認知度も向上し、安定期に入っていた昨年5月、突然、益美さんから石釜をつくりたいと商工会



に相談を持ちかけられました。
当地で営業を開始して7年。「地元密着型レストラン」として気軽に地元のお客様に来店してほしいという思いを募らせた結果、テイクアウトできる石釜ピザサービスを思いついたとのことでした。
行動派の益美さんは、持続化補助金を活用しながら、自らできる工程は積極的に手伝い、念願の石釜を完成させました。昨年12月から第2・4週金曜日を「ピザの日」と決めて、母娘二人三脚、日々、石釜前で研究を重ねています。



■商工会と共に新たな挑戦
私と娘の2人では様々な限界があり、商工会が持ってきてくれる情報は大いに役立っています。石釜ピザサービスを始めて10カ月経ちますが、まだ、近隣住民に浸透していないので、今後、どのようにサービスを普及していくか、商工会と協力して取り組んでいきたいです。

会津

檜枝岐村商工会

地域住民の憩いの場を目指して



焼きとり よりみち
代表 星 賢氏

〒967-0523
福島県南会津郡檜枝岐村字下ノ台460
TEL 0241-72-8172
営業時間 / 17:00~23:00
定休日 / 毎週火曜日

■事業所紹介

檜枝岐村からご紹介するのは平成28年9月に新規創業されたばかりの「焼きとり よりみち」さんです。事業主の星さんは、東京都内の焼きとり屋での勤務経験を活かして、地域住民が憩いの場として利用できる居酒屋を目指して創業されました。

焼きとりを中心メニューにしなが、お客様の要望を取り入れ新たなメニューの開発にも取り組んでいます。

地域住民はもちろんですが、観光に来られた村外のお客様にも気軽に立ち寄っていただき檜枝岐村の郷土料理を味わっていただける店づくりを目指しています。



現在は夕方からの営業ですが、今後はランチタイムの営業も検討されているということで、随時、支援施策等の活用を提案しながら、未永く地域住民に愛され必要とされる事業所となっただけのように伴走支援に取り組んでいきたいと思ひます。



■身近な相談役としての商工会

商工会には、創業するにあたり事業計画書作成や金融斡旋・税務等、非常に幅広い分野において支援していただきました。商工会からの提案により利用した専門家派遣事業では、調理実技や飲食店経営に関する基礎知識を具体的に学ぶことができ非常に勉強になりました。

新規創業ということでもかなり不安もありましたが、これからも経営で行き詰まった時には一人で悩む前に気軽に相談できる商工会をどんどん活用していきたいと思ひますので、今後ともよろしくお願ひします。

浜通り

三和町商工会

新しいロゴマークと二人三脚で商品作り



きのことマサ
代表 小野 正浩氏

〒970-1374
福島県いわき市三和町上三坂字立町101-2
TEL 0246-85-2755

■地元 三和の食材を活かして

いわき市三和町は、いわき市の北西部に位置し、いわき市全体の6分の1の面積を誇る広い町です。農業や林業が盛んな田園風景の広がる上三坂地区に平成17年に、三和の里の味「きのことマサ」をオープンしました。きのこ好きが生き、店名にも「きのこ」が入っています。インパクトのある店名なので、来店されるお客様からも由来をよく聞かれます。

じゅうねん(エゴマ)をつけだれに使った『じゅうねんだれの天ざるうどん』や、きのこをふんだんに使った『天ぶらそば』など、里山の味を手頃な価格で提供しています。また、三和の食材を活かしたおやき・えごまケーキ・おかず味噌・こんにやく・ドレッシングなど市内数ヶ所の直売所で販売しています。手軽に三和の味を楽しむことが出来ること好評です。

■ロゴやパッケージを一新

地元直売所やイベントの出店等で三和の素材を生かした商品の認知度は上がってきたものの、商品を手にとった時に『どんな商品か一目でわかる』新たなパッケージデザイン必要性を感じていました。ちょうどそんな時に経営指導員より、小規模事業者持続化補助金制度について教えていただきました。事業計画書作成中、自分達の意見を客観的に判断していただけたことは大変勉強になりました。この申請によ



り、カラーラベルプリンターを購入、お店のキャラクターを考え、ロゴマークを新しくして、パッケージも一新しました。

そこで、三和にあるお店に来店してもらうために、商品のパッケージに貼ってあるロゴマークシールを集めて持参すると、粗品プレゼントや割引サービスが受けられるキャンペーンを実施し、新規のお客様の拡大を目指しました。

■新しいロゴマークと共に

新しいロゴマークは赤いきのこのキャラクターで可愛いデザインにし、全ての商品に統一して貼ったことで、同一店の商品であることがわかりやすくなりました。

さらに、キャンペーンをきっかけに、お店の存在を知ってもらうことが出来て、新規のお客様に足を運んでもらえるようになりました。この新しいロゴマークによって、同業者の方々とも交流が深まり、同じような悩みを持つ方へ経験をもとにアドバイスすることが出来るようになりました。

今後も、商工会の支援を受けながら、ロゴマークを活かした商品を開発するとともに、ひとりでも多くの



お客様に商品を手にとってもらえるよう販路開拓にも積極的に取り組んでいきたいと思ひます。これからも、よろしくお願ひします。

Information

商工会だより

慰霊花火ブランド目指し

浅川町商工会



浅川町商工会会長の小宅善二です。浅川町は中通りの南部に位置し、阿武隈山系の雄大な自然と田園風景に囲まれた緑豊かな町です。

本町は「花火の里」として県内最古の三〇〇有余年の歴史と伝統を誇る花火大会が有名で、毎年八月十六日には近郷近在から多くの見物人でにぎわうところです。また、世界的なガン研究の先駆者吉田富三博士の生まれ故郷でもあり、吉田富三記念館ではその偉業を垣間見ることが出来ます。

浅川花火は、戦没者を供養するため神仏混交での慰霊行事を含めた「慰霊の花火」であり他地区によくみられるイベント的な花火ではなく、本町と荒町の両町青年会自らの手によって花火を打ち上げる江戸時代から脈々と受け継がれてきた伝統行事であります。しかし全国、県内においてもその慰霊の花火の知名度は高くなく、担

い手の減少や若者の流出による人口減少が現在の課題です。

浅川の花火は慰霊の花火であり、太平洋戦争の末期においても打ち上げを特別に許可され、存続されてきた歴史があります。町指定無形文化財としての浅川の花火を今後は、全国から必要とされる慰霊花火としてブランドの定着を願っています。

本年春に夜桜花火フオ

トコンテストで花火を打ち上げたことで、秋シーズンだけが花火を打ち上げておりませんでした。

そのような中で、新たな試みとして町民に新しい活力を提供するため、収穫に感謝した「秋の刈上げ花火」を十一月三日に打ち上げました。



秋の刈上げ豊秋花火

季節を問わない慰霊花火としての「四季彩華花火」をテーマに掲げ、春夏秋冬4回(春は夜桜花火、夏は慰霊花火、秋は秋の刈上げ花火、冬は除夜の火)花火を打ち上げることでブランド化を目指し「花火の里あさかわ」の気運を一体となつて醸成し、町の賑わいを創出したいと思えます。

地元産(豚肉・鶏肉)にこだわったイベント向けバーガーの商品開発 ふるさと名物発信

今、地域が個性的な魅力を持つことが求められており、地域特有の資源に焦点を当てて、それを地域づくりにいかすことが最も重要だと思っています。

したがって、地域資源の発掘とその有効活用こそが、個性的な魅力ある地域づくりであり、商工業を含めた地域産業の活性化や観光振興であり、ひいては、住んでよく、訪れてよい地域づくりが地域活性化の原点であると考えます。

新たに地元の食材を用いて、名産品を開発し浅川

町の雰囲気イメージした「当地バーガー」の商品を検討し、特産品として流通させることにより、新たなビジネスチャンスの可能性を感じました。

そこで商工会では、青年部が中心となり地元で生産している麓山高原豚(シユシー角煮)と地元産野菜を使った「あさまるバーガー」の開発と販路開拓による新商品開発に乗り出しました。

当面イベント向けの販売として肉質の良いブランド肉に着目し、浅川町産食材ブランド化販路拡大事業の業務委託を受けて三回ほど料理専門家の指導をいただき、試作品を何回もつくり、改良を加えたほか、パッケージの検討、値ごろ感があつて適正な収益が確保できる販売価格の設定、効果のあるプロモーション方法の計画を進めました。

試作を繰り返した結果、味・食感ともに満足いくバーガーがひとまず完成したところでありました。

十月には「当地バーガー第二弾のブラックバーガー」「ココアパウダーによる黒色のパンズ・地元鶏肉とキノコのクリーム煮を挟む」の新商品販売しました。

当面イベント対応ですが、商品化に向けては、誰にどのような場所でもどのようにアピールしながら売り出せばよいか、というマーケティング戦略が必要と考えており、また常時販売へと展開していきたい、販売体制をどのようにしていくかも研究していきたいと思えます。

▼あさまるバーガー



▲バーガーサミット2016

尚、女性部は地域PRとして、花火の尺玉をモチーフにした町公式キャラクター「あさまる」を手作りにより、可愛らしくさわやかなぬいぐるみに商品化し販売しています。



あさまるぬいぐるみ

花火の里振興券発行事業 (人口減少・地域経済活力強化策事業)

生活支援と地元での消費拡大・地域の商店街等における影響を最小限にとどめることを目的に、プレミアム率を十五%として、有効期限平成二十九年一月、おひとり様三セット(二セット二万円、約九十二店舗の取扱加盟店(飲食業、商業サービス業、建設・工業)で利用できることから大変好評で順調にお買い物をいただいております。

今後も町消費喚起の対応と、地域のニーズに配慮する商業支援のきめ細かい支援を行っていきたくと思えます。

浅川元気市 (買物弱者救済・賑わいづくり事業)

商工会では、昨年(期間四月〜十二月・二月一回の開催)から商店街の回遊性を高め、買物弱者子供支援で、普段の来街者を増やすことを目指して町内七か所に移動しての「あさかわ軽トラ市」を開



あさかわ元気市

催、農産物リサイクル品、お菓子などの販売を行い、消費者(買物弱者)、生産者、商工業者相互の交流を深め、賑わいを創出しています。

Information

商工会だより

音楽イベントで賑わい創出！ 飯坂町商工会



平成二十八年五月の総会において新たに就任いたしました、飯坂町商工会長の高橋義博です。

飯坂町は、福島市の北部に位置している奥州三名湯に数えられ東北を代表する温泉地の一つです。近年は、高度経済成長以降、経済状況や旅行形態の変化により入場客数が平成元年の約一四〇万人だった頃に比べ、平成二十二年には約四十二%減の約八十一万人と著しく減少し、それに伴い温泉街には廃業した旅館や空店舗が目立ってきています。それに加え、東日本大震災及び東電の原発事故による「風評被害」が更に悪影響を及ぼし、基幹産業である観光業等は観光客の減少という大きな問題に直面しています。

大きな問題に直面してはありますが、温泉を柱とした観光地から各種イベントがある街づくりに活路を見出そうと、関係団体と一丸となつて各種事業に取り組んでいます。

また、温泉地の近郊には、果樹園が立ち並ぶフルーツラインがあり、四

季を通じて果物王国福島の意味を楽しむことができます。果樹園の中には、くだもの木オーナー制度や農業体験学習や六次化等にも積極的に取り組んでいる商工会員もおり、商工会では専門家派遣等による伴走支援を実施しているところとです。

飯坂温泉ミュージックフェスティバル「おと酔いウオーク」

二〇一二年三月に発生した東日本大震災及び原発事故による風評被害により、福島へ訪れる観光客は激減しました。また、放射性物質汚染の影響を恐れ、福島県の人口も減少している中、音楽イベントを開

催して賑わいを創出させ、市民に「元氣」と「笑顔」を与え、小売店、飲食店などの地域商業の振興を図ることを目的として実施しました。

飯坂町商工会青年部と飯坂温泉観光協会青年



部が中心となつて立ち上げた実行委員会の実行委員長を務めるのは、安斎忠幸青年部長です。本業はモモやサクランボなどの果樹農家ですが、小さい頃から歌うことが大好き。ヒップホップグループを経て、『デフロック ターキンの』の名で県内中心にソコ活動し、飯坂温泉のPRソングも歌っています。

過去四回と回数を重ねてきた「おと酔いウオーク」。街中には普段見かけない若者が行列を作り、飲食店も大繁盛により地元の理解が深まり地域の誘客イベントとして根付いてきました。また、会場で知り合ったアーティスト同士が他の場所でも共演するなど、福島県

全体の音楽シーンを盛り上げるイベントに成長しています。

飯坂八幡神社例大祭「けんか祭り」

飯坂八幡神社の例大祭で、十月の第一土曜日を中心に三日間かけて行われる祭りです。大阪・岸和田の『地車祭り』、秋田・角館の『飾山ばやし』とともに『日本三大けんか祭り』と言われるといいます。太鼓の調べは京都・祇園囃の流れを汲み、三〇〇年余の伝統を誇ります。曳き屋台が温泉街を廻り、祭りのクライマックス「宮入り」では大勢の若者達に担がれた六台の太鼓屋台が激しくぶつかり合いながら神輿の宮入りを阻みます。宵祭・本祭・後祭の三日間、飯坂は祭り一色になります。「下がり半」「三切り」「流し」「宮入り」の四種類の打法があり、儀式太鼓の風格と勇壮さを現代に伝え、祭り太鼓保存会や小学校の太鼓クラブによって郷土の伝統文化が受け継がれています。



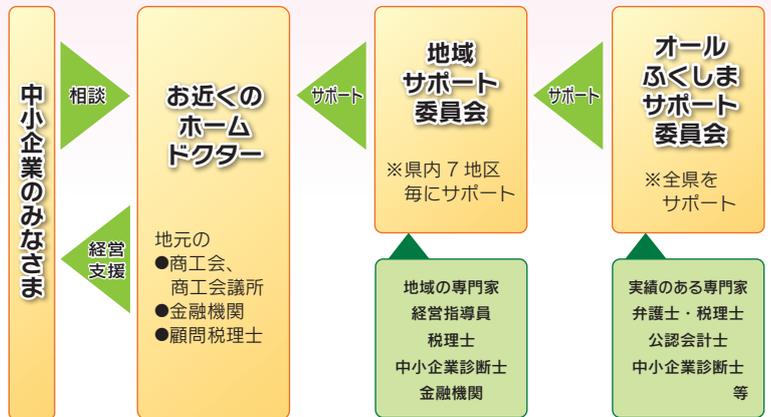
～事業者のみなさんのお悩みを解決します～

オールふくしま経営支援事業による経営支援について

県内の商工会、商工会議所、金融機関、税理士会など経営支援を行う各機関がお互いに連携・協力し、景気の変動や東日本大震災の影響等により厳しい経営環境にある事業者のみなさんを、「オールふくしま」の体制でサポートします。なお、ご相談は無料ですので、お近くの金融機関・商工会・商工会議所・税理士までお気軽にご相談ください。

支援体制と支援の流れ

- ①事業者のみなさんの身近にいる商工会、商工会議所、金融機関、顧問税理士等(以下「ホームドクター」)が、経営課題の解決をお手伝いします。
- ②相談の内容や課題が複雑で対応が難しい場合は、「地域サポート委員会」が、「ホームドクター」とともに支援方針の検討を行います。
- ③さらに、「地域サポート委員会」でも対応が難しい場合は、「オールふくしまサポート委員会」が支援方針の検討を行うという、二重三重の支援体制で、事業者のみなさんの経営課題解決をサポートします。



事業の詳細

県のホームページをご覧くださいか、下記の問い合わせ先までお問い合わせください。

お問い合わせ先

オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会事務局
(福島県商工労働部経営金融課) **TEL 024(521)7288**

オールふくしま 経営支援

検索

知財の活用について 無料相談いたします!

知的財産活動のメリット

- ・有利な事業展開
- ・自社ブランドの構築
- ・自社技術力の向上
- ・社員のモチベーション向上

平成27年度相談実績：1300件

経営に寄与する知的財産活動

特許を保有する中小企業は保有していない中小企業よりも従業員一人当たりの営業利益率が約3倍という調査結果もあります。*

※「平成24年度中小企業実態基本調査」(中小庁)、「平成25年度企業活動基本調査速報」(経済産業省)より

県内唯一の知財ワンストップ相談支援窓口

まずはお気軽にご相談ください

福島県知財総合支援窓口 電話 024-963-0242
〒963-0215 郡山市待池台1-12 福島県ハイテクプラザ2F



(独)工業所有権情報・研修館事業 実施：一般社団法人福島県発明協会 <http://www.fukushima-i.org>

商工会員様向け融資制度

＜福島県商工事業協同組合＞

商工貯蓄共済にご加入の皆様へ

商工貯蓄共済に1口でも加入があれば最大1500万円まで融資が受けられます

資金繰りに
役立ちます!

運転資金や設備資金など、商工会員様に借りやすく使いやすい有利な融資をご用意いたしました。
※融資には審査、条件があります

お申し込みは、商工会まで

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の 商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

12万人以上の皆様に
ご利用いただいています

「けが」の補償
傷害プラン

「個人賠償」の
補償

「傷害プラン」に個人賠償責任保険が付いて、

さらに **パワーアップ!!**

※けがの補償に「個人賠償」の補償が自動付加されます。(傷害ライド・シニア傷害プランを除く)
※個人賠償責任保険(総合生活保険(個人賠償責任補償))は東京海上日動火災保険が補償する保険です。

お申し込みはご加入の商工会まで